

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0904023

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	A	
単位施策	1 防犯体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	消費者行政活性化推進事業	見直し年度		
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	4 住民生活課	
事業指標	各種支援の実施		#N/A	
事業目標	消費相談件数 10件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	⇒	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画内容	研修会の開催 2.一般町民を対象とした啓発用パンフレットの購入・配布 3.消費者相談担当者の研修会への派遣		1.消費者被害防止ネットワーク関係者を対象に研修会開催 2.啓発用パンフ購入・配布 3.相談業務担当者の研修	1.消費者被害防止ネットワーク関係者を対象に研修会開催 2.啓発用パンフ購入・配布 3.相談業務担当者の研修	1.消費者啓発活性化講演会の開催 2.啓発用パンフ購入・配布 3.相談業務担当者の研修	1. 消費者啓発活性化講演会の開催	
	事業費(千円)	5,302	0	2,043	768	1,291	1,200
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	5,302		2,043	768	1,291	1,200
	地方債	0					
	その他	0					
実績事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	3,586		1,530	768	1,288	0
	地方債	0					
	その他	0					
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	10件	10件	10件	10件	
	年度達成率	#DIV/0!	75%	100%	100%	0%	
	全体達成率	0%	29%	43%	68%	68%	
事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	—		

事業名	消費者行政活性化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	一般町民(消費者)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消費相談件数
【抱える課題やニーズは】	消費者トラブルの増加	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消費者被害の未然防止	① 消費相談件数	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	消費生活の安全性確保		目標値 10件
			実績値 0件
			達成度 0.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	活性化推進	実施実績なし	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	消費者行政の集中育成として、関係機関の助成のもと実施する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	平成24年度においては、「消費者行政活性化推進事業」が採択されなかったことから、事業展開が出来ず目標達成されていない。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

課題あり	判断の理由	補助事業が採択されなかったことによる事業の未実施。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	消費者全体に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
D	D	
4年間の補助事業採択を計画していたが、平成24年度は採択されなかったため、町単費での実施を見送った。	同左	

今後の展開方向
(Action)

終了	終了	
補助事業に係る1年延長(当初3か年間)が採択されなかったことから、本事業を終了する。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止